

【2023年度以降入学者対象】

2025年度 社会デザイン研究科 修士論文・研究報告書の仮提出について

以下を熟読し指定された期間内に必ず提出すること。

【修士論文・研究報告書 仮提出】 提出期間・時間・場所

11月7日（金）9:00 ～ 11日（火）17:00 【締切厳守】

日 付	受 付 時 間	提 出 場 所
11月7日（金）	9：00～	「Canvas LMS」（Web） https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/login ※システムにログインして提出処理を行う。 （詳細は「Canvas LMS操作マニュアル」参照）
11月8日（土）	24時間提出可能	
11月9日（日）		
11月10日（月）		
11月11日（火）	～17：00	

※ 締切に関する日時はすべて日本標準時（JST）を基準とする。

※ 提出期間内は何度でも提出が可能。提出方法と注意事項 ⑪を参照のこと。

「Canvas LMS」操作マニュアルについて

「Canvas LMS」の操作については、各自で必ずマニュアルを確認すること。

① 「Canvas LMS 学生用マニュアル」（「Canvas LMS」全体のマニュアル）

https://helpdesk.rikkyo.ac.jp/canvaslms_stu



② 「Canvas LMS」における修士論文・研究報告書の提出手順（簡易版）

<https://s.rikkyo.ac.jp/canvasc019>

※「研究報告書」の場合は、「修士論文」を「研究報告書」に読み替えて参照してください。



＜「Canvas LMS」の操作に関する問合せ先＞

メディアセンターヘルプデスク

※詳細は、以下のSPIRITメディアセンターページで確認すること。

<http://s.rikkyo.ac.jp/helpdesk>

※時間的余裕をもって問い合わせること。



学校感染症のため出校停止となった学生の修士論文・研究報告書の提出について

出校停止となった場合でも自宅等からのWeb提出が可能であるため、いかなる代替措置も認められない。必ず提出期間内に提出すること。

【修士論文・研究報告書 仮提出】 提出物について

(1) 提出物

修士論文または研究報告書

※仮提出の時点では論文要旨は不要。

（指導教員から提出の指示があった場合は、指導教員へ直接提出すること。）

※仮提出にあたっては、指導教員の承認を得ること。

(2) 作成要領

①書式

Word等のワープロソフトで、A4判、横書き、字数は35,000字以上とする（注・文献リスト等も文字数に含む）。

1ページにつき、40字×36行を目安に作成すること。

②表紙

論文（または報告書）本文の表紙には以下を明記し、研究科が指示する所定の様式にて作成のこと。

- ・提出年度
- ・提出物の区分（修士論文または研究報告書）
- ・論文題目（和文・英文併記）
- ・指導教員名
- ・研究科名、専攻名、学生番号、氏名

<表紙様式・見本>

2025年度	
修士論文(仮提出)	提出物の区分(該当する方のみ記載)
研究報告書(仮提出)	
和文題目	
英文題目	
指導教員 ● ● ● ●	指導教員名
社会デザイン研究科 社会デザイン学専攻	学生番号
24VM999A	氏名
■ ■ ■ ■	

③論文等はPDF形式で保存したデータファイルを提出すること。

原則として論文等は、表紙から最後のページまで一つのデータとして提出すること。

データファイル単体でのファイル容量が100MB以上になる場合は、複数ファイルに分割すること。

④提出するPDFファイルのファイル名は、「学生番号_提出物の区分_提出日（西暦の日付）」の形式とする。

例：修士論文の場合 24VM999A_修士論文_20251107

研究報告書の場合 24VM999A_研究報告書_20251107

※研究報告書についても上記に準じて作成することとするが、論文の形態をとらないものについては指導教員の指示に従うこと。

提出方法と注意事項

修士論文および研究報告書は、指定された期間以外では理由の如何にかかわらず一切受け付けないので十分注意すること。

- ① Webでの提出状況（提出の有無）は、「Canvas LMS」におけるIDをもって判断する。必ず自らのV-Campus IDでログインした状態で提出すること。
- ② 提出資格を有している学生に対してのみ、「Canvas LMS」上に当該論文・報告書提出用のコースが表示される（下記③参照）。
- ③ 「Canvas LMS」へのログイン後に表示される論文・報告書提出用のコース画面を開いて提出（アップロード）すること。それ以外での提出方法（指導教員へのメール送信等）では一切受け付けないので十分注意すること。
※提出期間前に「Canvas LMS操作マニュアル」を参照するなどをして、事前に提出時の手順を必ず確認しておくこと。
- ④ 「Canvas LMS」のコース機能を利用するにあたっては、本学による類似性判定支援ツールの使用に関する提出者からの事前の同意が必要となる。同意の詳細については以下のページで確認すること。なお、修士論文および研究報告書の提出においては、上記同意に時間を要したことを理由とした提出期間後の提出は一切認められないので、十分余裕をもって提出すること。
[※「類似性判定支援ツールの使用について」](#)
- ⑤ 提出する際のファイル形式（拡張子）に指定（制限）がある場合、指定以外の形式では提出できないので注意すること。
- ⑥ アップロードするデータのファイル名称は、任意のものとする。ただし、掲示等を通じて研究科より別途指示があった場合は、その指示に従うこと。
- ⑦ 提出された論文または報告書は、「Canvas LMS」に表示される論文・報告書提出用のコースを通じて提出された内容により審査されるので、提出先のコースを間違えることがないように十分注意すること。また、論文・報告書提出用のコースには審査対象となるデータ以外をアップロードしないよう注意すること。
- ⑧ **論文・報告書提出用コース内で「課題を提出する」をクリック後、自身の通信環境によって提出完了まで時間がかかることがある。**「課題を提出する」をクリックしていても提出締切時刻までに提出が完了していない場合は提出と認められないため、時間に十分余裕をもって提出すること。提出状況の確認は⑨を参照すること。
- ⑨ **論文・報告書提出用コース内で「提出しました！」と表示されていない場合は、理由の如何にかかわらず提出期間内に論文または報告書が提出されなかったことを示している。**論文または報告書提出後、「Canvas LMS」論文・報告書提出用コース内の画面表示が「提出しました！」となっていることを必ず確認すること。
- ⑩ Web提出では、自らの提出状況や提出後のデータ内容を確認することができる。十分余裕をもって提出し、それらを確認すること（**文字化け、ファイルの破損等を理由とした提出期間後の再提出は一切認められない**）。
- ⑪ 提出期間内に限り、論文または報告書データは同一の論文・報告書提出用のコース内で複数回提出することができる。ただし、最後に提出されたものが審査の対象となるため、提出（再提出）は各自の責任によって十分注意して行うこと。
※再提出によって自動的にデータが上書きされるわけではない。提出したデータ内容を必ず確認すること。
- ⑫ **通信上のトラブル（インターネットに接続できない等）や電子機器上のトラブル（処理速度が遅くなった等）を理由とした提出期間後の提出は一切認められない**ので、十分余裕をもって提出すること。
- ⑬ 提出期間前にあらかじめ安定した通信環境を確保し、十分準備すること。
※有線接続した通信環境を推奨する。うまく提出できない場合には、十分余裕をもって、キャンパス内のPC備え付けのPCを利用する等、自身の責任において通信環境を確保すること。
- ⑭ 自身の責任において用意した通信環境（大学PC教室含む）に起因する通信上のトラブルや電子機器上のトラブルをWebシステム（Canvas LMS）の不具合であると誤認しないよう十分注意すること。大学の環境に起因するシステム遅延等でWebシステム（Canvas LMS）に不具合が発生した場合のみ、大学からその事実および締切延長措置等の対応を伝達する。

◆ 締切日に事件、事故に遭遇したら・・・

事件・事故など「不測の事態」により、本人が提出期限までに修士論文または研究報告書を提出できない場合は、当日の締切時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口にお問い合わせ、指示を受けること。

※「不測の事態」とは、事件、事故などの場合であり、機器（パソコン等）の故障、通信上のトラブル、データの紛失などは含まれないので注意すること。

修士論文および研究報告書は、時間に余裕をもって提出すること。